

編修趣意書

(教育基本法との対照表)

受理番号	学校	教科	種目	学年
107-188	高等学校	国語科	論理国語	
発行者の番号・略称	教科書の記号・番号	教科書名		
15 三省堂	論国 015-902	新 論理国語 改訂版		

1. 編修の基本方針

言葉を学ぶ。言葉で生きる。

主体的に学ぶ

学び方を習得し、見通しをもって主体的に活用しながら、学びに向かう力を高めます。

対話をとおして学ぶ

他者との交流・共有をとおして、多様な価値観が共存する社会で生きる力を高めます。

深く学ぶ

知識・技能と思考力・判断力・表現力を確実に育成し、言語文化の担い手を育てます。

この教科書は、教育基本法に掲げられた目標及び学習指導要領の目標を達成するために、以下に掲げる方針を基軸として編修しました。その際、選択科目としての性格や特色を意識するとともに、共通必修科目において育成された能力を基盤として、「知識及び技能」「思考力・判断力・表現力等」の関連する内容を発展させ、育成を目指す資質・能力を確かめながら、主体的に、対話をとおして、深く学ぶことができるよう、教材の内容、配列、課題の設定を工夫しました。

- ① 多様な見方、考え方、感じ方にふれ、物事を総合的に捉えることのできる、幅広い人間性、豊かな感性と判断力を育てる。

国際的な高度情報化社会の到来とともに人や物の交流が盛んになる一方、国内では人口構成や産業構造の変化による社会や生活における意識の多様化など、さまざまな問題が起こっています。多様な価値観との共存が求められる現代社会においては、こうした現実に対処するために、さまざまなものの見方、考え方、感じ方を知り、物事を大局的・多角的に捉え、的確に判断するバランスのとれた能力が必要になります。これからのグローバル社会に対応し持続可能な社会の担い手となる人材の育成に向けて、この教科書では特に、理解の質を高め確かな学

力を育成することに意を尽くしました。また、思考力・判断力・表現力等を有機的に関連づけた教材と学習課題を効果的に配置するよう心がけました。さらに、他者の話や文章における情報や主張を的確に切り分けつつ理解し、それに対する自己の主張を論理的に展開させる課題を配置することで、国際社会を生きるための総合的な国語力と個の自覚を育成することを目指しました。

② 自ら学び自ら考える意欲を喚起して、主体的に生きてゆく力をはぐくみ、国語の力を育成する。

高度情報化社会の到来やA I（人工知能）の進展などに伴い、現代社会を自覚的に生きるには、氾濫する情報を適切に収集・整理していく能力が求められます。そのことが、他者を尊重しつつ、自ら学び自ら考え主体的に生きる力の基本になります。そうした観点から、この教科書では、特に言葉を通して現実をみつめます。他者を理解しつつ、主体的に考え、伝え合う言語活動を通して、生徒一人一人の国語の力を育成することを第一のねらいとしました。これは生涯にわたって日本の言語文化に親しみ、その担い手として、生きて行くための基本的な能力の育成につながります。複雑化する現代社会に対応する人材を育成するために、国語教育の受け持つ領域は、もっとも基本的かつ広範なものです。そのための教材の厳選・適正な学習活動の展開には細心の配慮をしました。

③ 伝え合う力を確かなものにするため、表現学習を重視し、理解学習と総合化した体系的な国語教育を目指す。

伝え合うという行為は、相手を理解することであると同時に、自己を表現することでもあります。生徒たちの言語生活を真に生き生きとしたものにし、伝え合う力を確かなものにしてゆくためには、表現のための学習と理解のための学習とが有機的に配置され、総合的に位置づけられる必要があります。そのため、この教科書では、表現と理解を結びつけた独自の課題（＝学習の場）を設定することで、生徒たちの主体的な学習活動を促し、言語能力を総合的に高められるよう配慮しました。また、内向的な学びに向かいがちな学習のあり方に対する反省をふまえ、自分の意見や考えの積極的な発信や他者との協働的な活動をとおして、開かれた個性、広範な教養が育まれることを目指しました。

④ 言語事項を総合的に学習し、国語に関する知識を深めることにより、国語に対する関心を高め、国際社会に生きる国語の力を獲得させる。

社会生活に必要とされる知識や技能を身につけるために、日本の言語文化に対する理解と認識を高めてゆくことが求められます。そのため、生徒の興味関心を引き出し、生徒の学習意欲を喚起できる、豊かな価値を有する内容になるよう心がけました。また、言語の教育という点を重視し、国語に関する知識や言語事項の学習にも留意しました。こうした学びが、生徒に言語文化の担い手としての自覚を喚起させ、豊かな言語活動を通して社会に関わろうとする態度を養います。学習にあたっては、学習目標の明示、課題、活動、コラムを経て、学習の振り返りによる自己確認に至るまで、個々の教材開発による、一貫した学習計画が達成できるよう配慮しました。さらに、日本の言語文化を特徴的にいどる教材をバランスよく配置するとともに、必要に応じて古典教材と近代の作品とを関連させるなど、発展的に考えさせる学習課題の設定についても格別の配慮をしました。

2. 対照表

図書の構成・内容	特に意を用いた点や特色	該当箇所
考える練習をしよう	課題について考えを深めることをとおして、自他の敬愛と協力を重んじ、公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養うことを目指した(第三号)。	14～16
一人で爆笑	日本語について論じた文章をとおして、伝統と文化を尊重し、それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛するとともに、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うことを目指した(第五号)。	18～23
データの吟味	言葉の使い方に関する調査について論じた文章をとおして、伝統と文化を尊重し、それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛するとともに、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うことを目指した(第五号)。	24～25
世界のあり方	世界の認識への姿勢を論じた文章をとおして、幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養うことを目指した(第一号)。	26～29
文章をリフォームする	文章の推敲をとおして、幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養うことを目指した(第一号)。	31～34
「展示」が伝えるもの	資料館の展示について論じた文章をとおして、伝統と文化を尊重し、それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛するとともに、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うことを目指した(第五号)。	42～52
目的に合わせた構成	目的に合わせた構成を考えることをとおして、自他の敬愛と協力を重んじ、正義と責任、男女の平等、公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養うことを目指した(第三号)。	53～55
マンガミュージアムへ行こう	他者を理解することについて論じた文章をとおして、正義と責任、男女の平等、自他の敬愛と協力を重んじ、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養うことを目指した(第三号)。	56～62
ガイドブックの構成を考える	ガイドブックの構成を考えることをとおして、個人の価値を尊重して、その能力を伸ばし、創造性を培い、自主及び自律の精神を養うことを目指した(第二号)。	64～67
視覚化する味覚	視覚と味覚の関係について論じた文章をとおして、伝統と文化を尊重し、それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛するとともに、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うことを目指した(第五号)。	78～83
資料の論理を読む	情報の背景となる状況を読解することをとおして、正義と責任、男女の平等、自他の敬愛と協力を重んじ、公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養うことを目指した(第三号)。	84～85
落語の中の経済学	伝統芸能と経済を論じた文章をとおして、幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養うことを目指した(第一号)。	86～93
情報を整理する	情報を整理することをとおして、幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養うことを目指した(第一号)。	95～98
データの見方・考え方	情報を分析した文章を批評することをとおして、伝統と文化を尊重し、それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛するとともに、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うことを目指した(第五号)。	110～112
誰かの靴を履いてみる	英国の教育内容を論じた文章をとおして、伝統と文化を尊重し、それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛するとともに、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うことを目指した(第五号)。	113～119
「なに／だれ」が感じさせているのか	言葉の使い方に対する考え方を論じた文章をとおして、伝統と文化を尊重し、それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛するとともに、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うことを目指した(第五号)。	120～126
レポートを書く	レポートを書くことをとおして、幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養うことを目指した(第一号)。	128～131
水資源から考えるトイレ問題	身近な事物と地球環境問題との関連論じた文章をとおして、生命を尊び、自然を大切に、環境の保全に寄与する態度を養うことを目指した(第四号)。	142～147
人類による環境への影響	対照的な二つの対環境戦略を論じた文章をとおして、生命を尊び、自然を大切に、環境の保全に寄与する態度を養うことを目指した(第四号)。	148～157
情報を整理して位置づける	情報を整理して位置づけることをとおして、正義と責任、男女の平等、自他の敬愛と協力を重んじ、公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養うことを目指した(第三号)。	158～159

説得力のある文章を書く	説得力のある文章を書くことをとおして、個人の価値を尊重して、その能力を伸ばし、創造性を培い、自主及び自律の精神を養うことを目指した(第二号)。	161～164
それぞれのしっくりくる言葉	言葉の使い方に対する考え方を論じた文章をとおして、伝統と文化を尊重し、それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛するとともに、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うことを目指した(第五号)。	174～177
意見と根拠の関係性	女性の社会参画を論じた文章をとおして、正義と責任、男女の平等、自他の敬愛と協力を重んじ、公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養うことを目指した(第三号)。	178～179
多様な視点から考える	多様な考え方の必要性を論じた文章をとおして、伝統と文化を尊重し、それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛するとともに、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うことを目指した(第五号)。	180～185
小論文を書く1 データ分析型	データ分析型の小論文を書くことをとおして、幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養うことを目指した(第一号)。	187～191
文体のもつ効果	文体のもつ効果を論じた文章をとおして、幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養うことを目指した(第一号)。	202～205
学びとは何か	学習と創造性との関係を論じた文章をとおして、幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養うことを目指した(第一号)。	206～213
「知る」ということ	「知る」というのはどういうことかを論じた文章をとおして、幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養うことを目指した(第一号)。	214～221
自己推薦文を書く	自己推薦文を書くことをとおして、個人の価値を尊重して、その能力を伸ばし、創造性を培い、自主及び自律の精神を養うことを目指した(第二号)。	223～227
二度読んだ本を三度読む	文学作品が及ぼす体験について論じた文章をとおして、幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養うことを目指した(第一号)。	238～244
地球上の「旅人」	幅広い見方や考え方の薦めを論じた文章をとおして、伝統と文化を尊重し、それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛するとともに、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うことを目指した(第五号)。	245～251
資料の目的と読み方	若者の労働観に関する資料について考えることをとおして、個人の価値を尊重して、その能力を伸ばし、創造性を培い、自主及び自律の精神を養うとともに、職業及び生活との関連を重視し、勤労を重んずる態度を養うことを目指した(第二号)。	252～253
投書を書く	投書を書くことをとおして、正義と責任、男女の平等、自他の敬愛と協力を重んじ、公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養うことを目指した(第三号)。	255～259
消費社会を問いなおす	現代社会の課題を論じた文章をとおして、正義と責任、男女の平等、自他の敬愛と協力を重んじ、公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養うことを目指した(第三号)。	268～275
日本マンガのブルーオーシャン戦略	漫画雑誌の発展とその理由を論じた文章をとおして、伝統と文化を尊重し、それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛するとともに、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うことを目指した(第五号)。	276～283
文章と図の相互補完	ヒューマンエラーを論じた文章をとおして、幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養うことを目指した(第一号)。	284～286
小論文を書く2 テーマ型	小論文を書くことをとおして、幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養うことを目指した(第一号)。	288～292
科学には限界があるか	科学の未来について論じた文章をとおして、幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養うことを目指した(第一号)。	308～312
未来のありか	未来とは何かについて改めて論じた文章をとおして、幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養うことを目指した(第一号)。	313～319
考えを深める	人類の進化を論じた文章をとおして、正義と責任、男女の平等、自他の敬愛と協力を重んじ、公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養うことを目指した(第三号)。	320～322
卒業論文を書く	卒業論文を書くことをとおして、個人の価値を尊重して、その能力を伸ばし、創造性を培い、自主及び自律の精神を養うことを目指した(第二号)。	324～329
ブックガイド	「幅広い知識と教養」「真理の探求」「豊かな情操と道徳心」「勤労の精神」「生命や自然」「伝統と文化」「国際社会の平和」などを尊重し涵養するための読書活動を推進することを意図して、各単元9冊の図書をテーマ別に紹介した(第一号、第二号、第三号、第四号、第五号)。	40,76,108,140, 172,200,236, 266,306,340

3. 上記の記載事項以外に特に意を用いた点や特色

全ての学習者が学習しやすい紙面づくり

- ❖ 特別支援教育ならびにカラーユニバーサルデザインの専門家の知見を参考に、ユニバーサルデザインに配慮し、誰もが使いやすい教科書となるよう工夫しました。
- ❖ 教材で使用している文字にUDフォントを使用し、読み誤りなどが生じにくいよう配慮しました。
- ❖ 挿絵や図版を適所に配置することで、生徒の学習意欲を喚起し、内容の理解を支えることを目指しました。
- ❖ 資料編の「思考の方法」などでは、文字による解説に加え、わかりやすい図解を用いることで内容を視覚的に捉えられるよう工夫しました。

カラーユニバーサルデザイン（CUD）への対応

- ❖ 色覚の特性を考慮し、誰にでも見やすく、学びやすい配色となるよう工夫しました。
- ❖ 識別しにくい配色は避け、色だけの違いに頼らず、形の違いや、記号・番号・説明文などの補助的な手がかりを設けました。
- ❖ 色の濃淡や罫線の使い分けなどで違いが明確になるように配慮しました。

環境にやさしい教科書

- ❖ 環境の保護や資源の節約のため、原料や製法に配慮した環境にやさしい紙を使用しています
- ❖ 植物由来の油および、それらを主体とする廃食用油等をリサイクルした再生油を含んだ、印刷インキ工業連合会認定の植物油インキを使用しています。

その他の配慮事項

- ❖ 製本は堅牢で、十分な耐久性を備えています。

編修趣意書

(学習指導要領との対照表、配当授業時数表)

受理番号	学校	教科	種目	学年
107-188	高等学校	国語科	論理国語	
発行者の番号・略称	教科書の記号・番号	教科書名		
15三省堂	論国 015-902	新 論理国語 改訂版		

1. 編修上特に意を用いた点や特色

実社会で必要な、情報を整理する能力と批判的に読む資質・能力を育む

① 育成したい資質・能力を焦点化するとともに、求められる言語パフォーマンスを明示する

- 子どもたちが、近い将来直面する未来社会の課題や問題の状況を多面的に捉えられるよう、テーマに基づいて単元を構成しました。また、設定した話題に対して、子どもたちが自ら問いを立て、多様な論点、異なる価値観と結び付けながら、他者と協働し、新たな観点から自分たちの考えを深められるように教材を配置し、学習活動を構成しています。
- 単元の冒頭と単元を構成する教材や学習活動の冒頭には「つけたい力」として学習目標を提示し、教材の末尾には学習を振り返る機会を設けることで、学習活動をとおして身についた力を自分で診断・評価し、次の学習にいかすことができる仕組みを目指しました。また、学び手が「つけたい力」を意識できるような具体的な言語活動を設定し、知識と知識を関連づけ、既有知識を活用できる学習活動を設定しています。
- 学習指導要領に記載された指導事項をふまえ、〈読む〉ことの学習を「関係認識力の向上」を観点として捉え直して学習の系統化を図り、「情報の整理」を「基礎・基本」として段階的かつ体系的に、確実に習得できるようにしました。また、「情報の扱い方に関する事項」を単元の学習過程に組み込んでいます。
- 学習指導要領で示された「実社会において必要となる、論理的に書いたり、批判的に読んだりする資質・能力」を育むための基盤となる学習活動を、教科書紙面上に構成しました。学習活動をとおして、「示された情報の信頼性や妥当性を見極める能力」、「他者の主張や考えを的確に理解する能力」「自らの主張や考えを、相手に受け入れられるよう、論拠に基づいて効果的に構築する能力」、さらにこうした能力を統合して「立場や考えの異なる他者との的確な意思疎通や共通理解、課題を発見しその解決を導いていくための創造性や合理性を重視した他者との協働する能力」の育成に寄与するよう単元を構成しています。

見通し

ステップ1 目標の確認
 …目標を確かめて、学習の見通しをもちます。

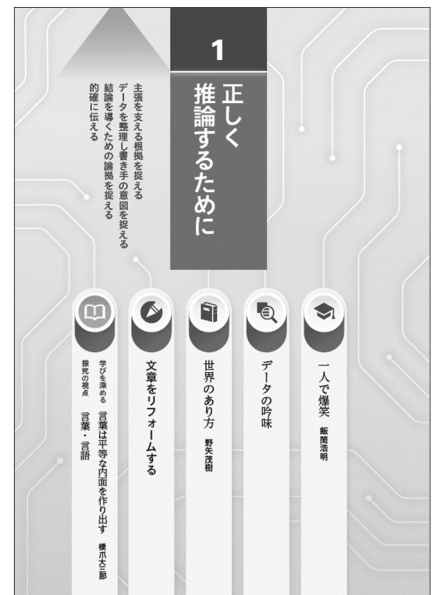
深い学び・対話的

ステップ2 教材を用いた学習活動
〈読む〉テキストを情報として総合的に理解する。
〈書く〉情報を整理・分析・吟味することで考えを形成する。
 …学習課題を整理・確認して、「正しく推論するため」の学習内容や学習の構成をつかみます。自学自習にも対応した課題を設定しています。
 …文章や資料を詳しく読み、対話をとおして情報の内容や構成表現の仕方についての理解を深めます。
 …文章や資料を読んで理解したことをもとに、自分の考えを深めたり、広げたりします。さまざまな表現活動を軸にして情報の発信者として、自覚的に自己の考えを表出します。

振り返り

ステップ3 学びを振り返る
 …自分の学習を振り返って評価し、これからの学習へいかします。

+α 学びを深める・探究の視点
 …ステップ1～3までの学習を活用して取り組むとともに、新たな資料を参照するなどして、学びをさらに広げたり、深めたりします。



<単元の基本的なつくり>

<単元と教材の目標(単元扉)>

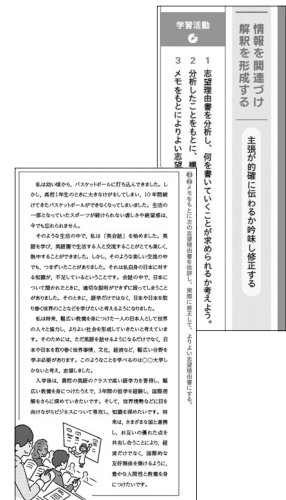
② 批判的に検討するための方法の拡充と深化を目指す

- ・コラム「読解するために」では、「示された情報の信頼性や妥当性を見極める」ための、また「他者の主張や考えを的確に理解する」ための「読みの方略」を図解で示しました。他教材や自主的な読書、表現活動などで繰り返し活用できる10の方略を、単元ごとに「読み方のコツ」として配置しています。
- ・言葉による見方・考え方ははたらかせて、情報と情報との関係を捉えたり考えを整理したり深めたりする方法として、資料編に「思考の方法」を示しています。
- ・学習活動に応じて、「思考の方法」を活用するための手引きを「情報を整理するために」として配置し、単元や教材の学習活動の文脈の中で適切に活用できるようにしています。
- ・資料編には『「思考の方法」一覧』のほか、厳選した「話し合いの方法」を、図を用いてわかりやすく示しています。

根拠や論拠の吟味を重ね、文章全体の論理の明晰さを確かめて論理的に書く能力を育む

③ 自分の考えを形成する、自分の考えを広げ、深める

- ・全ての教材で「自分の考えを形成する学習過程」を重視しました。また、〈読む〉学習を通じて深めた認識をもとに、自分の考えをより豊かに深めていくことを目指し、〈書く〉学習を単元末の学習活動として配置しています。
- ・単元末の〈書く〉学習は、〈読む〉学習との関連をもたせました。また、実際の高校生が書いたものなどを教材として配置することで、単なる意見や考えを書くだけでなく、より深い認識に改めたり、説得的なものにしたりしていく学習活動を配置し、対話をとおして考えを深めたり問題解決したりする機会と場を充実させています。
- ・特に、Ⅱ部の〈書く〉学習は、〈読む〉学習の延長ではなく、高校生にとってリアリティのある課題として、「志望理由書（自己推薦文）」や「小論文」、「卒業論文」を作成することを課題として設定しました。学習の成果を活用して〈書く〉過程をとおして、「論理的説明力を基盤にした論述力」が身についたことを実感することができるようになっています。



④ 他者と関わる現実の社会において必要な国語の知識や技能を習得する。

- ・各教材には、理解できる語句と使える語句の量を増やすために、日常生活でよく使われる語を中心として、漢字の音訓の使い分けや、形や読みが似ていることで混同しやすい熟語を中心に示しています。
- ・各単元には、現代社会を考える際に必要なさまざまなテーマをの認識を深めるためのコラムを準備しました。また、テーマに関連した語彙を取りあげ、語感を磨き、情報内容のより深い理解を目指すことができるよう構成しています。
- ・全単元を通じて「伝え合い」「合意形成」「説得」などを学習活動の要所に配置し、現代の社会生活で必要となる言語能力の活用を目指した取り組みと他者との協働を目指した学習を設定し、言語生活者として育つことを目指しています。

学びを深める

⑤ 「振り返り」の充実

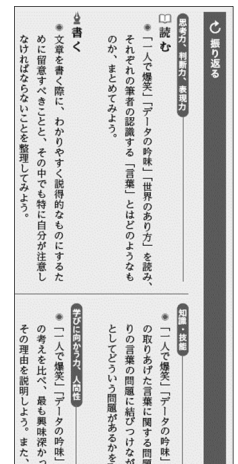
一子どもたち自身が自らの学びを捉え直し、次の学習につなげることを目指して

- ・「振り返り」のページを構成し、「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」「学びに向かう力・人間性」の観点別ごとに、子どもたち自身が自らの学びを評価し“何ができたか”“次の学びに向かうためすべきことは何か”など、自らの学びを捉え直せる機会を提供しています。

⑥ 言葉と文化の担い手として

一豊かな読書、伝統的な言語文化の継承・発展を目指して

- ・単元末尾の「ブックガイド」は「表現」「教材」「単元のテーマに関わる本」に分類し、多様なジャンルの読書に誘うだけでなく、学習の際の手立てとなる書籍を掲載しました。
- ・各単元の末尾に「探究の視点」を置き、単元で学んだことを広げて考えていくためのテーマを配置しました。このような単元構成とすることで、教材の読解にとどまるのではなく、単元のゴールを「社会事象の総合的理解と、それに基づく自分の考えの論述」とし、「社会に開かれた教育課程」の実現を図っています。
- ・補充教材として使える「学びを深める」の教材群を掲載し、さまざまな文章に触れる機会を提供しています。



2.対照表

		図書の構成・内容 [教材名]	学習指導要領の内容	該当箇所 (ページ)	配当時数		
I部	入門	論理的に考えるために	考える練習をしよう	●読カ 考えの形成 ◆言葉ア 言葉の働き	14~16	適宜	
	1 正しく推論するために	主張を支える根拠を捉える	「一人で爆笑」 飯間浩明	●読ア 構造と内容の把握 [言語活動] ウ ◆言葉ア 言葉の働き ウ 文や文章 ◆情報ア 情報と情報との関係	18~23	8	
		データを整理し書き手の意図を捉える	データの吟味 (「『本気』『マジ』『ガチ』」石黒圭)		24~25		
		結論を導くための論拠を捉える	「世界のあり方」 野矢茂樹		26~29		
		コラム	論理的な文章を読み解く		30		
		的確に伝える	文章をリフォームする	●書オ 考えの形成、記述 [言語活動] ウ ◆言葉イ 語彙	31~34		5
		学びを深める	「言葉は平等な内面を作り出す」 橋爪大三郎	◎学んだことを深め、読書に親しむ態度の育成を図る。	36~37		適宜
		コラム	言葉・言語	◆言葉イ 語彙	38		
	探究の視点	言葉・言語		39			
	2 構成を吟味し説得力を高めるために	送り手の意図を捉え解釈を深める	「『展示』が伝えるもの」 小田原のどか	●読イ 構造と内容の把握 [言語活動] エ ◆言葉ア 言葉の働き エ 文や文章 ◆情報ウ 情報の整理	42~52	8	
		書き手の意図を捉える	目的に合わせた構成		53~55		
		文章や論理の構成を捉える	「マンガミュージアムへ行こう」 村田麻里子		56~62		
		コラム	例示・事例		63		
		事例の順序を考えわかりやすく伝える	ガイドブックの構成を考える	●書ア 題材の設定 [言語活動] ア ◆言葉イ 語彙	64~67		5
コラム		さまざまな文章1 企画書	68				
学びを深める		「落書きなのかアートなのか」 毛利嘉孝	◎学んだことを深め、読書に親しむ態度の育成を図る。	70~73	適宜		
コラム	文化・芸術	◆言葉イ 語彙	74				
探究の視点	文化・芸術		75				
3 信頼性を吟味するために	根拠や例示の適切さを確かめる	「視覚化する味覚」 久野愛	●読ウ 精査・解釈 [言語活動] ア ◆言葉イ 語彙 エ 文や文章 ◆情報イ 情報の整理	78~83	8		
	情報を分析する	資料の論理を読む		84~85			
	論理の構成を理解する	「落語の中の経済学」 大竹文雄		86~93			
	コラム	図表と文章		94			
	情報を整理し活用する	情報を整理する	●書ア 題材の設定 [言語活動] ウ ◆言葉エ 文や文章	95~98		5	
	コラム	さまざまな文章2 報告書	99				
	学びを深める	「ホンモノのおカネの作り方」 岩井克人	◎学んだことを深め、読書に親しむ態度の育成を図る。	101~105		適宜	
コラム	経済	◆言葉イ 語彙	106				
探究の視点	経済		107				

4 隠れた前提を探するために	論拠を批判的に検討する	データの見方・考え方 (「世界のケータイ事情」伊藤智章)		110~112	8
	さまざまな視点から検討する	「誰かの靴を履いてみること」 ブレイディみかこ	●読む 精査・解釈 [言語活動] イ ◆言葉ア 言葉の働き イ 語彙 ◆情報ウ 情報の整理	113~119	
	表現の仕方と書き手の意図との関係を捉える	「『なに／だれ』が感じさせているのか」 松村圭一郎		120~126	
	コラム	推論の仕方		127	
	論拠を吟味し伝えたいことを明確にする	レポートを書く	●書イ 情報の収集・内容の検討 [言語活動] イ ◆言葉エ 文や文章	128~131	5
	学びを深める	「『文化が違う』とは何を意味するのか？」岡真理	◎学んだことを深め、読書に親しむ態度の育成を図る。	133~137	適宜
	コラム	グローバル化	◆言葉イ 語彙	138	
	探究の視点	グローバル化		139	
5 具体と抽象の関係を理解するために	多様な論点を結びつける	「水資源から考えるトイレ問題」 山本耕平	●読む 精査・解釈 [言語活動] ア ◆言葉イ 語彙 エ 文や文章 ◆情報ア 情報と情報との関係	142~147	8
	文章の信頼性と妥当性を吟味し内容を解釈する	「人類による環境への影響」 鷺谷いづみ		148~157	
	必要な情報を関係づける	情報を整理して位置づける		158~159	
	コラム	具体と抽象		160	
	立場の異なる読み手を想定する	説得力のある文章を書く	●書イ 情報の収集・内容の検討 [言語活動] エ ◆言葉イ 語彙	161~164	5
	学びを深める	「コンクリートの時代」 隈研吾	◎学んだことを深め、読書に親しむ態度の育成を図る。	165~169	適宜
コラム	環境・科学技術	◆言葉イ 語彙	170		
探究の視点	環境		171		
6 事例の意味を探るために	主張を支える事例を吟味する	「それぞれのしっくりくる言葉」 山崎ナオコーラ	●読む 精査・解釈 [言語活動] ウ ◆言葉ウ・エ 文や文章 ◆情報ウ 情報の整理	174~177	8
	書き手の思考過程を検証する	意見と根拠の関係性 (「周田の支えが時代を作る」岡室美奈子)		178~179	
	事例の役割と意味を捉える	「多様な視点から考える」前田健太郎		180~185	
	コラム	論理の組み立て		186	
	根拠を明確にして考えを述べる	小論文を書く1 データ分析型	●書ウ 構成の検討 [言語活動] イ ◆言葉イ 語彙	187~191	5
	コラム	さまざまな文章3 広告		192	
	学びを深める	「自分を捉え直す」 平野啓一郎	◎学んだことを深め、読書に親しむ態度の育成を図る。	194~197	適宜
コラム	人権・ジェンダー	◆言葉イ 語彙	198		
探究の視点	人権		199		
II部 7 情報を関連づけ自分の解釈を形成するために	考えを広げたり深めたりする	文体のもつ効果 (「料理本はなぜニコニコしているのか」阿部公彦)	●読む 精査・解釈 [言語活動] エ ◆言葉イ 語彙 ウ 文や文章 ◆情報イ 情報の整理	202~205	8
	必要な情報を関連づける	「学びとは何か」 今井むつみ		206~213	
	内容の解釈を深める	「『知る』ということ」 加藤周一		214~221	
	コラム	比較		222	
	主張が的確に伝わるかを吟味し修正する	自己推薦文を書く	●書エ 考えの形成・記述 [言語活動] エ ◆言葉イ 語彙	223~227	4
	学びを深める	「ミロのヴィーナス」 清岡卓行	◎学んだことを深め、読書に親しむ態度の育成を図る。	229~233	適宜
	コラム	知のあり方	◆言葉イ 語彙	234	
	探究の視点	知のあり方		235	

8 論点を整理するために	内容や構成・論理の展開を捉える	「二度読んだ本を三度読む 山月記」 柳広司		238～244	8
	要旨を把握する	「地球上の『旅人』」 ヤマザキマリ	●読カ 考えの形成 [言語活動] オ ◆言葉イ 語彙 エ 文や文章 ◆情報イ 情報の整理	245～251	
	論点を明確にする	資料の目的と読み方		252～253	
	コラム	情報の整理と階層化		254	
	立場や論点を明確にする	投書を書く	●書オ 考えの形成、記述 [言語活動] イ ◆言葉イ 語彙	255～259	4
	学びを深める	「文系と理系の壁はあるか」 最相葉月	◎学んだことを深め、読書に親しむ態度の育成を図る。	261～263	適宜
	コラム	労働と若者		264	
探究の視点	働くということ	◆言葉イ 語彙	265		
9 批評するために	批評する	「消費社会を問いなおす」 貞包英之		268～275	8
	批評的に検討する	「日本マンガのブルーオーシャン戦略」 中山淳雄	●読カ 考えの形成 [言語活動] イ ◆言葉イ 語彙 ウ 文や文章 ◆情報イ 情報の整理	276～283	
	書き手の立場や目的を考える	文章と図の相互補完 (「ヒューマンエラー防止法」中田亨)		284～286	
	コラム	知のあり方		287	
	自分の考えを形成する	小論文を書く 2 テーマ型	●書ウ 構成の検討 [言語活動] イ ◆言葉イ 語彙	288～292	6
	学びを深める	「『である』ことと『する』こと」 丸山真男	◎学んだことを深め、読書に親しむ態度の育成を図る。	294～303	適宜
	コラム	私とは、他者とは	◆言葉イ 語彙	304	
探究の視点	他者		305		
10 解釈を広げたり深めたりするために	考えを広げたり深めたりする	「科学には限界があるか」 湯川秀樹		308～312	8
	自分の考えを捉え直す	「未来のありか」 若林幹夫	●読キ 考えの形成 [言語活動] オ ◆言葉イ 語彙 エ 文や文章 ◆情報イ 情報の整理	313～319	
	新たな観点から自分の考えを深める	考えを深める (「『強さ』とは何か」稲垣榮洋)		320～322	
	コラム	データや仮説の検討		323	
	学習をいかして書く	卒業論文を書く	●書カ 推敲・共有 [言語活動] エ ◆言葉イ 語彙	324～329	6
	学びを深める	「多様な知識の組み合わせを」 村上陽一郎	◎学んだことを深め、読書に親しむ態度の育成を図る。	331～337	適宜
	探究の視点	認識と実践	◆言葉イ 語彙	338	
コラム	社会のあり方		339		
資料編	振り返る		◎単元での学習を振り返り、身についたことや深めたいことを確かめる	35,69,100, 132,165,193, 228,260,293, 330	適宜
	ブックガイド	表現・教材・単元のテーマにかかわる本	◆言語文化ア 読書	40,76,108, 140,172,200, 236,266,306, 340	適宜
	話し合いの方法		◎国語科の学習を効果的に進める上で役立つ知識を整理して示し、国語への認識を深めたり、尊重する態度の育成を図ったりする。	342～343	適宜
	「思考の方法」一覧			344～347	
「思考ツール」一覧				348～351	